

人材交流報告書

全国科学館連携協議会

提出日 30年 2月 10日

所 属	向井千秋記念子ども科学館	氏 名	清水 建太郎	印	
交流期間 年 月 日	平成30年1月11日(木)～ 平成30年1月15日(月)	交 流 先	三菱みなとみらい技術館		
目 的	全国科学館連携協議会加盟館どうしの職員が相互に交流し、学び合う機会を創出することです。科学館の運営で必要な能力を共同で高めるとともに、連携を深める。				
報 告 事 項					
<p>・巡回業務:三菱みなとみらい技術館にはシミュレーターが多くあり、体験希望者の行列が発生することがあるため、巡回職員が整列の呼びかけをし、トラブル防止に努めていた。また、トランシーバーを用いて、職員に館内の状況を定期的に周知しており、職員同士の報告・連絡・相談が的確に行われていると感じた。</p> <p>・理科実験:来館者向けに、20～30分程度の理科実験を毎日2回開催している。テーマは、「真空」や「揚力」「ジャイロ効果」など、館内の展示物に合わせたものを実施している。理科実験はコミュニケータースタッフが持ち回りで担当しており、同じテーマでも演者によって実験の内容や順序を変えるなどして、見学者が飽きないような工夫がなされていた。</p> <p>・企画展準備:企画展「科学捜査の秘密2」の準備に携わった。小学生向けの内容にするため、パネルの文章を分かりやすくする必要があり、展示パネルの校正を行った。また、体験型の企画展であるため、職員があらかじめ体験し、どのように企画展を進行させていけば、参加者が楽しめるかなどを、相談しながら改良を重ねていた。</p> <p>・館内・MRJ解説ツアー:来館者向けに館内の解説及び国産初のジェット旅客機「MRJ」の解説ツアーを体験した。館内解説では、展示物を実際に見ながら担当が見学ポイントの説明をしているため、参加者はその展示物についての理解を深められていると感じた。MRJの解説では、初めに映像とクイズによってMRJについて知ってもらい、その後、実際の展示物を見てより詳細な説明をしていた。解説担当職員だけでなく、ほかの職員もMRJについて、細かな知識を持っており意識の高さがうかがえた。</p> <p>・キッズ・ラボ:紙コップで作る「お散歩ワンちゃん」の工作の補助を行った。下準備で用意した工作キットは、参加者一人ずつトレイにのせて提供されており、工作しやすい環境になっていた。また、</p>					

作業時間を長めにとっており、参加者は満足できる作品に仕上げられるようになってきていると感じた。

- ・着ぐるみでお出迎え：マスコットキャラクター「テクノくん」の着ぐるみを着て、来館者を出迎えた。来館記念と一緒に写真撮影をする方や、握手を求めてくる方などがおり、人気であることがうかがえた。
- ・アソビバ：小さな子ども向けに絵本の読み聞かせと簡単な工作を実施していた。今回は、ガチャガチャのカプセルを使ってダルマを作った。職員が工作のサポートを行い、小さな子どもが楽しめるように、話し方などに注意して接した。



館内解説ツアー



キッズ・ラボ



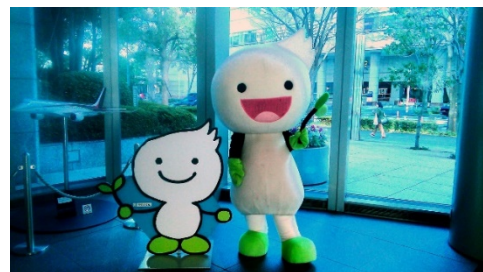
理科実験



理科実験



アソビバ



着ぐるみでお出迎え